

FBソフトサービス(EBNext2/EBNext2DX)における 不具合の発生について

発生事象

この度、FB ソフト(EBNext2/EBNext2DX)におきまして、2021 年 11 月以降に Windows Update の更新プログラムを適用したことにより、FB ソフトのデータベースが削除されてしまう事象が複数件確認されております。

対処方法

現在、ソフトウェアメーカー(株式会社 NTT データ四国)において当該事象の検証作業を行っております。検証作業完了次第、結果等を当行ホームページにてお知らせいたします。誠に申し訳ございませんが、検証作業が完了するまでの間、Windows Update を控えていただきますようお願い申し上げます。

本事象への事前対応策

Windows Update をすでに実施済みの場合は、万が一のデータベースの削除に備え、FB ソフト内の機能を利用し、「バックアップの取得」と「データベースの分割」を実施いただくようお願いいたします。

※バックアップの取得手順は「操作ガイドブック 第 2 章 基本的な操作 バックアップ」(別紙1)をご参照ください。

※データベースの分割の手順は「管理者ガイドブック 第 5 章 付加機能 データベースの分割」(別紙2)をご参照ください。

本事象発生時の対応策

万が一、本事象が発生した場合は「バックアップからの復元」によりデータベースの復旧作業を実施いただくようお願いいたします。

※バックアップの復元手順は「操作ガイドブック 第 2 章 基本的な操作 バックアップ 復元」(別紙3)をご参照ください。

本件に関するお問い合わせ先

EB サポートセンター

0120-895618

銀行営業日 9:00~17:30(銀行休業日は除く)

バックアップ

万が一のファイル破損や消失に備え、こまめにデータのバックアップをとっておきましょう。

バックアップには作成したデータの複製をとるための「保存」と、保存で作成したデータの複製を取り込むための「復元」があります。

保存

操作手順

1. 主メニューで「バックアップ」をクリックします。
2. 処理選択の“保存”を選び、保存先のドライブ、フォルダを指定します。指定したフォルダ内にあるファイルの一覧が表示されるので、保存先として使用して良いか確認して、よければ「保存」をクリックします。

ファイルを本に例えると、ドライブは書庫、フォルダは本棚の関係にあります。

ハードディスク等に保存する時は、保存先となるフォルダを、あらかじめ作成しておいてください。

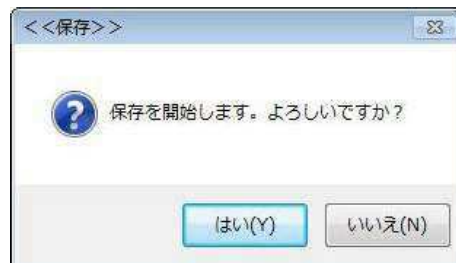


<ヒント>

「初期フォルダ再表示」をクリックすると当処理画面表示時のフォルダが再表示されます。

3. 保存を開始してよいか確認してきますので、[はい] をクリックします。

→データの保存が始まります。



4. 保存が終了すると保存完了の画面が表示されますので、[OK] をクリックします。

→バックアップが終了し、画面は主メニュー画面に戻ります。



データベースの分割

本ツールをデータベース分割ツールと呼称します。

EBNext2で利用可能なデータベースに対して、データベースの分割、ショートカットの作成、データベースの削除を行います。

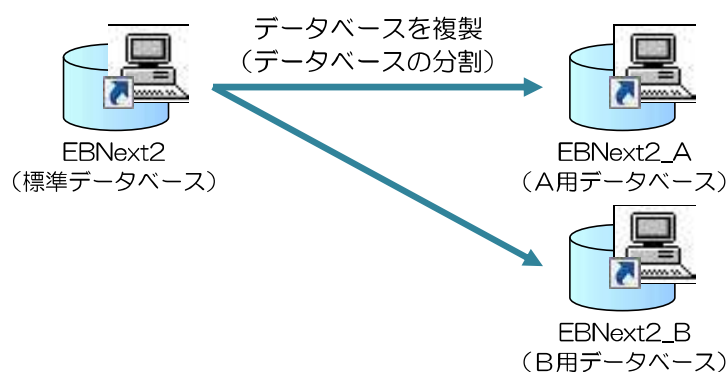
●データベースの分割

EBNext2で利用可能なデータベースを元にしてデータベースを新たに分割作成します。同時に、新たに分割作成したデータベースでEBNext2を利用するためのショートカットを、操作を行ったログインユーザのデスクトップに作成します。

分割作成されたデータベースには、分割元のデータベースのデータが設定されています。

ハードディスクの容量が許す限り、データベースは分割できます。

<データベース分割のイメージ>



●ショートカットの作成

EBNext2で利用可能なデータベースを選択し、そのデータベースでEBNext2を起動するためのショートカットを、操作を行ったログインユーザのデスクトップに作成します。

●データベースの削除

データベース分割ツールにて分割作成したデータベースを削除します。

事前準備

1. 設定情報や口座情報等、複数のデータベースで共通の登録内容がある場合は、分割元となるデータベースへ登録しておくくと便利です。

例)・初期登録(「管理者用ガイドブック」の第2章)

- ・口座事前登録、為替手数料登録
(「操作ガイドブック」の第3章)
- ・自動照会予約登録、簡単資金移動事前登録
(「操作ガイドブック」の第6章)

2. UAC が ON の環境をご利用で、インストール後に1度もEBNext2を起動していない場合は、EBNext2を起動し、[業務終了] をクリックして終了します。

データベースの分割時にエラーを起こさないための操作です。データ登録等の操作は必要ありません。

3. EBNex t 2または以下のツールが起動していれば終了します。
- F B - W i n 移行ツール
 - 銀行コード・支店番号更新ツール
 - データベース分割ツール

注意事項

1. データベース分割ツールの実行対象として選択可能なデータベースは、以下のフォルダ内の EBNex t 2用データベースです。

フォルダパスはシステムドライブが C ドライブの場合を示しています。

UAC が OFF の環境をご利用の場合

C:\ProgramData\NTTDSYS\EBNext\DATA\

UAC が ON の環境をご利用の場合

① C:\Users\<ログインユーザ名>\AppData\Local
VirtualStore\ProgramData\NTTDSYS\EBNext\DATA\

② C:\ProgramData\NTTDSYS\EBNext\DATA\

※①と②の両方に同名のデータベースが存在する場合、①のデータベースが対象となります。

2. データベースの分割によって作成されたデータベースは以下のフォルダに作成されます。

フォルダパスはシステムドライブが C ドライブの場合を示しています。

UAC が OFF の環境をご利用の場合

C:\ProgramData\NTTDSYS\EBNext\DATA\

UAC が ON の環境をご利用の場合

- データベースを利用するユーザで「すべてのユーザ」を選択した場合
C:\ProgramData\NTTDSYS\EBNext\DATA\

- データベースを利用するユーザで「現在のログインユーザのみ」を選択した場合

C:\Users\<ログインユーザ名>\AppData\Local
VirtualStore\ProgramData\NTTDSYS\EBNext\DATA\

以降、右記のフォルダを「共有用フォルダ」と呼称します。

以降、右記のフォルダを「個人用フォルダ」と呼称します。

-
3. 複数のデータベースに分割した場合、それらをまとめて一つのデータベースに統合することはできません。
 4. EBNext2 によりデータベースの登録内容を変更した場合、起動しているデータベースのみ反映されます。
複数のデータベースに同一の設定を行いたい場合は、データベース毎に作成されたショートカットより EBNext2 を起動し、データベースの登録内容を変更する必要があります。
 5. データベースの分割により作成されたデータベースは EBNext2 のアンインストール時に削除されません。
必ず EBNext2 のアンインストール前に、「データベースの削除」(82 ページ)に従って分割作成したデータベースを削除してください。
 6. データベース分割ツールにより作成されたショートカットは、データベース分割ツールによるデータベース削除時、および EBNext2 のアンインストール時には自動的に削除されません。
ショートカットを削除したい場合は、手動で削除する必要があります。

<ヒント>

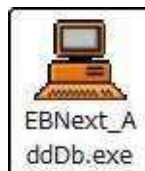
データベース分割ツールで作成されるショートカットは、操作を行ったログインユーザのデスクトップ上に作成されます。

7. UAC が ON の環境をご利用の場合で、データベースの分割時に作成されたショートカットから EBNext2 を起動している際に、接続先である個人用フォルダのデータベースに接続できなくなった場合、Windows の仕様により、共有用フォルダのデータベースが参照される場合があります。
この際、共有用フォルダのデータが上書きされますので、ご注意ください。

操作手順

Program Files (x86) は
64 ビット版の場合です。

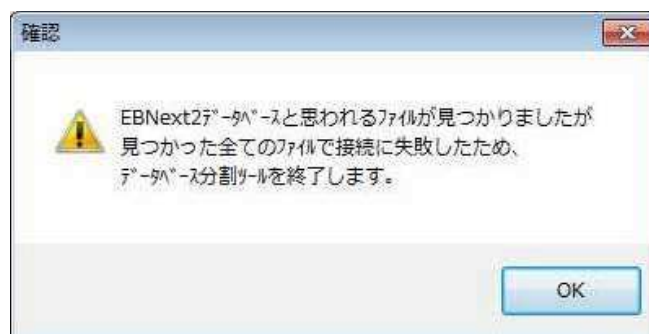
1. ローカルディスクの Program Files または Program Files (x86) の中の EBNext フォルダにある “EBNext_AddDb.exe” をダブルクリックします。

**→ EBNext2 が導入されていない場合**

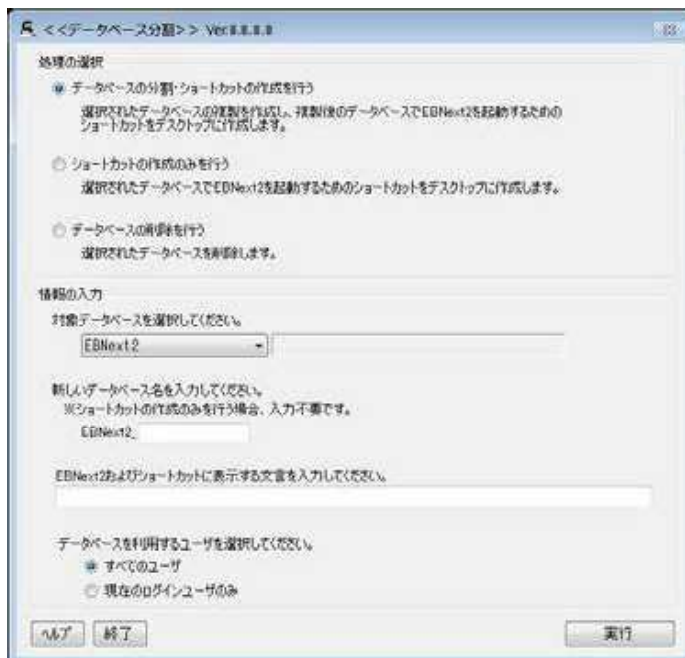
以下のエラー画面が表示されます。[OK] をクリックするとデータベース分割ツールを終了します。EBNext2を導入後、再度実行してください。

**→ EBNext2 のデータベースに接続できない場合**

以下のエラー画面が表示されます。[OK] をクリックするとデータベース分割ツールを終了します。EBNext2のデータベースが破損している場合があります。ご確認ください。



2. データベース分割画面が表示されます。

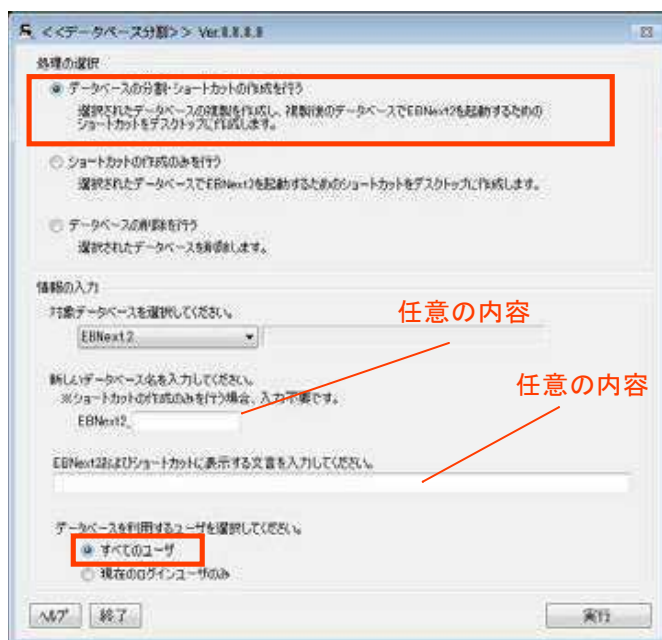


→以降の手順については、実行内容に従って次ページ以降を参照してください。

データベースの分割・ショートカットの作成

新たにデータベースを分割作成したい場合にご利用ください。

1. 画面上方の選択肢から、「データベースの分割・ショートカットの作成を行う」を選択します。



2. 画面中央の選択肢から、分割元となるデータベースを選択します。

選択したデータベースに表示文言が設定されている場合、右側に表示文言が表示されます。

<ヒント>

EBNext2で利用可能なデータベースが表示されています。

3. 画面下方のデータベース名、表示文言を入力します。

<ヒント>

- データベース名：新しく作成するデータベースの名称を入力します。
最大10文字の半角英数字、「-」、「_」が入力可能です。
- 表示文言：EBNext2の主メニュー、およびショートカットに表示する文言を入力します。
最大50文字の記号「¥ / : * ' ? " < > | 」以外の文字が入力可能です。

ショートカットの表示文言は、あとからでも手動で変更できます。

実行環境が UAC が ON の場合のみ必要な操作です。該当しない場合は5. に進んでください

4. 画面下方の選択肢から、データベースを利用するユーザを選択します。

<ヒント>

- すべてのユーザ：
すべての Windows ユーザが利用可能なデータベースを作成します。
- 現在のログインユーザのみ：
現在のログインユーザ（現在の操作者）のみが利用可能なデータベースを作成します。

※選択した項目によってデータベースの作成先が異なります。詳細については[注意事項](#)の2. を参照してください。

※利用するユーザは、データベースの分割を行った後に変更することはできません。

※どちらを選択した場合でも、E B N e x t 2 のショートカットは、現在のログインユーザのデスクトップにのみ作成されます。

5. 「実行」をクリックします。

→データベースを利用するユーザにて「現在のログインユーザ」が選択されており、E B N e x t 2 が一度も起動されていない場合

以下のエラー画面が表示されます。[OK] をクリックするとデータベースの分割を中断します。E B N e x t 2 を一度起動した後、再度実行してください。



6. 確認画面が表示されます。設定内容に問題無ければ、[はい] をクリックします。



7. データベースの分割が正常に終了すると、以下の完了画面が表示されます。



8. 作成したデータベースを利用するためのEBNext 2のショートカットがデスクトップ上に作成されます。



<ヒント>

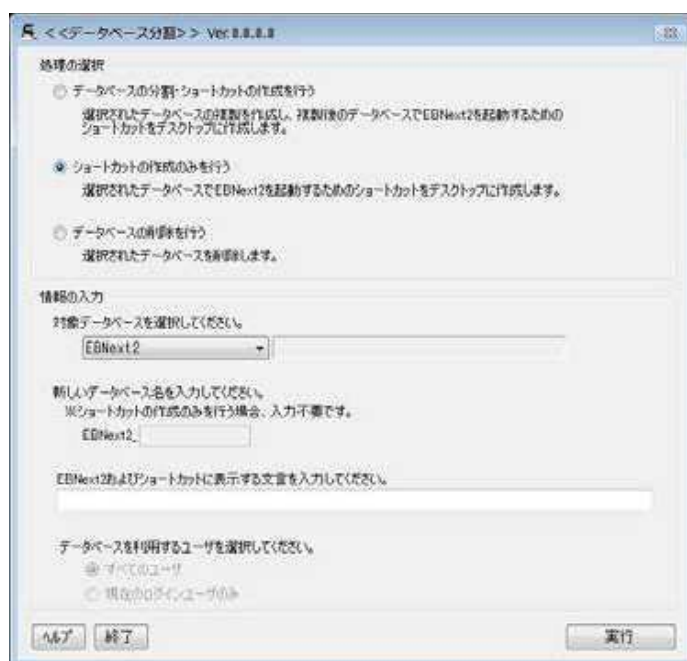
- 作成されるショートカット名は以下のとおりです。
「EBNext2 - 」 + 「3. にて入力した表示文言」

ショートカットの作成

ショートカットを削除してしまった場合や、Windows のログインユーザが変わった場合等、分割済みのデータベースで EBNex t 2 を起動するためのショートカットを作成したい場合にご利用ください。

1. 画面上方の選択肢から、「ショートカットの作成のみを行う」を選択します。

選択したデータベースに表示文言が設定されている場合、右側に表示文言が表示されます。



選択したデータベースに表示文言が設定されている場合、設定されている表示文言が表示されています。

ショートカットの表示文言は、あとからでも手動で変更できます。

2. 画面中央の選択肢から、ショートカットの作成元となるデータベースを選択します。

<ヒント>

EBNex t 2 で利用可能なデータベースが表示されています。

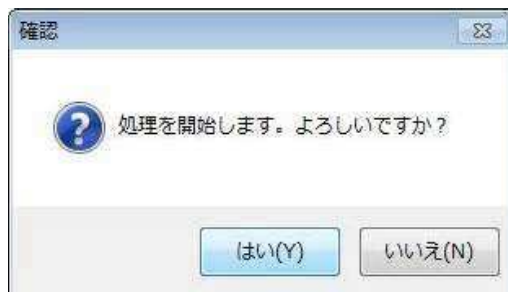
3. 画面下方の表示文言を入力します。

<ヒント>

- ・表示文言：EBNex t 2 の主メニュー、およびショートカットに表示する文言を入力します。
最大50文字の記号「¥ / : * ' ? ' < > | . 」以外の文字が入力可能です。

4. 「実行」をクリックします。

5. 確認画面が表示されます。設定内容に問題無ければ、[はい] をクリックします。



6. ショートカットの作成が正常に終了すると、以下の完了画面が表示されます。



7. 選択したデータベースを利用するためのEBNext2のショートカットがデスクトップ上に作成されます。



<ヒント>

- 作成されるショートカット名は以下のとおりです。
「EBNext2 - 」 + 「3. にて入力した表示文言」

- ・ショートカットから起動すると、「ショートカットが最新の状態ではありません。」というメッセージが出力される場合があります。

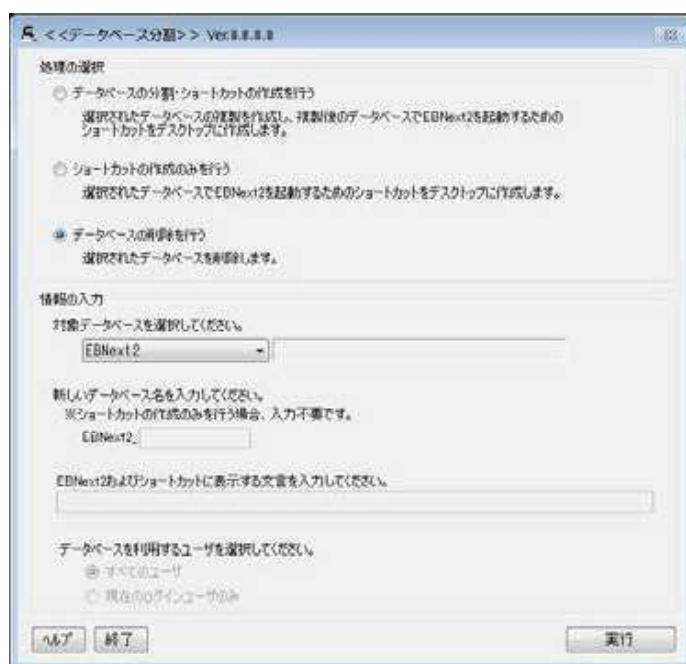


これは、データベースの分割時に設定した表示文言とショートカットの作成時に設定した表示文言が一致しない場合に出力されます。起動対象のデータベースに対して「ショートカットの作成のみを行う」を実施してください。

データベースの削除

分割作成したデータベースを削除したい場合にご利用ください。

1. 画面上方の選択枝から「データベースの削除を行う」を選択します。



2. 画面中央の選択枝から、削除するデータベースを選択します。

選択したデータベースに表示文言が設定されている場合、右側に表示文言が表示されます。

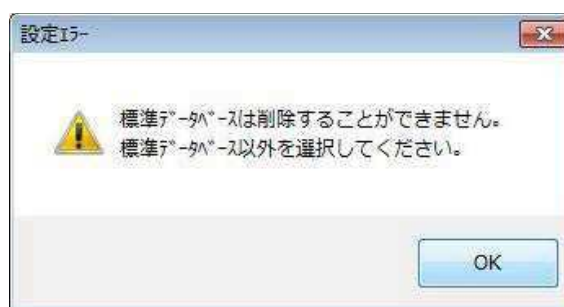
<ヒント>

EBNext2で利用可能なデータベースが表示されています。

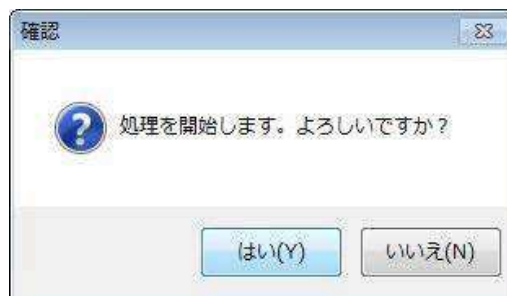
3. [実行] をクリックします。

→削除対象として標準データベース「EBNext2」が選択されている場合

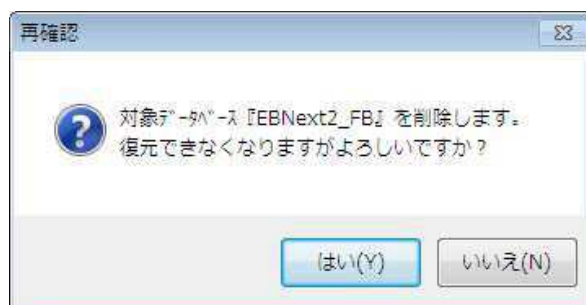
標準データベース「EBNext2」は削除できないため、以下のエラー画面が表示されます。[OK] をクリックするとデータベースの削除を中断します。削除対象のデータベースを変更し、再度実行してください。



4. 確認画面が表示されます。設定内容に問題無ければ、[はい] をクリックします。



5. 再確認画面が表示されます。削除対象となるデータベースが正しい場合、[はい] をクリックします。



6. データベースの削除が正常に終了すると以下の完了画面が表示されます。



→削除したデータベースに対応するショートカットについては注意事項の6. を参照してください。

ログファイルについて

データベース分割ツールでは、お客様が行った操作と業務実施中に発生したエラーをログファイルに出力します。

お問い合わせの際には、このログファイルをお送りいただくことができます。

ログファイルの出力フォルダ

フォルダパスはシステムドライブが C ドライブの場合を示しています。

ログファイルには操作ログとエラーログがあり、どちらも以下のフォルダに出力されます。

C:\ProgramData\NTTDSYS\EBNext\DATA\

ログファイルの出力フォルダ

操作ログファイル、エラーログファイルのファイル名の形式は以下のとおりです。

- 操作ログファイル名
ADDDBLOG.TXT
- エラーログファイル名
ERRADDDBLOG.TXT

復元

操作手順

1. 主メニューで、[バックアップ] をクリックします。
2. 処理選択の「復元」を選び、復元元のドライブ、フォルダを指定します。
指定したフォルダ内にあるファイルの一覧が表示されるので、復元するデータであることを確認して、よければ[復元]をクリックします。

ファイルを本に例えると、ドライブは書庫、フォルダは本棚の関係にあります。

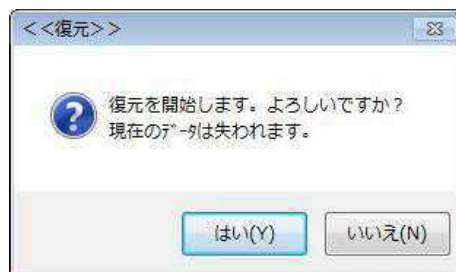


<ヒント>

[初期フォルダ再表示] をクリックすると当該処理画面表示時のフォルダが再表示されます。

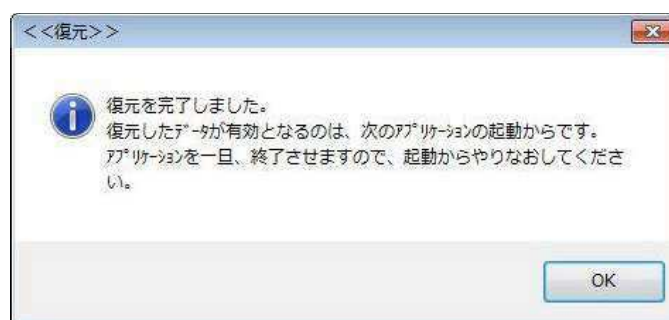
3. 復元を開始してよいか確認してきますので、[はい] をクリックします。

→データの復元が始まります。



4. 復元したデータを有効にするためにはアプリケーションを起動しなおす必要があります。アプリケーション終了確認の画面が表示されたら、[OK] をクリックします。

→アプリケーションが終了します。



5. アプリケーションを再度起動して、復元したデータで作業を行ってください。